

連携先世界遺産：賀茂別雷神社（上賀茂神社）

「上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する」 7月28日(日)「賀茂の水まつり」の活性化

■受講生

大石 有紗（京都産業大学・文化学部・三回生）、大島 立紘（立命館大学・経営学部・三回生）、
柏元 京（京都造形芸術大学・芸術学部・二回生）、小林 礼夏（京都産業大学・経済学部・二回生）

■担当教員

吉野 秋二（京都産業大学・文化学部・教授）

活動目的・概要

賀茂別雷神社（上賀茂神社）から提示された課題「上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する」を元に、毎年7月に開催される水まつりの活性化を目標に活動しました。今年の水まつりは、7月28日の日曜日に開催されました。

初めに上賀茂神社の伝統や文化に触れ、水まつりに向けて昨年までの祭りの様子を確認しながら、具体的に何ができるのか意見交換をしました。その後、神社との打ち合わせや表千家の佐々木宗聖先生・先輩受講生との話し合いを通じて、具体的に当日何をするのかを決めました。

水まつりを通して上賀茂神社に親しみを持ってもらうことを目的に、スタンプラリー、休憩所、お茶席、水の近くに置くアート、催し物の提案をしました。絵馬神輿、流しそうめん、かき氷、縁日企画などは京都産業大学のボランティアサークルNONTsに実施していただきました。

反省すべき点はいくつか挙げられますが、水まつりを盛り上げられたこと、企画を練り実施できたことは私たちを大きく成長させてくれました。多くの方の助けを得て、貴重な経験を得られたことができました。



◆主な活動

- 2019. 4. 28 ガイダンス 世界遺産に関する学習
上賀茂神社訪問
- 2019. 5. 12 全体オリエンテーション
ミーティング
- 2019. 6. 1 ミーティング
- 2019. 6. 15 インタビュートレーニング
お茶席打ち合わせ(佐々木先生宅)
- 2019. 6. 29 ミーティング
- 2019. 7. 9 お茶席打ち合わせ (佐々木先生宅)
- 2019. 7. 13 ミーティング

- 2019. 7. 27 「水まつり」準備
- 2019. 7. 28 「水まつり」当日
- 2019. 9. 28 成果と課題のまとめ
- 2019. 10. 20 プレゼンテーショントレーニング
成果物作成に向けた準備
- 2019. 12. 8 成果発表準備
- 2019. 12. 15 成果発表
世界遺産関係者と振り返り、成果物発表

活動の成果

水まつり

7月28日開催の「賀茂の水まつり」を中心に、「上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する」というテーマで取り組みました。この取り組みは今年で5年目となり、先輩たちが考えた活動を引き継ぐと共に、これまでの反省を生かしながら新しいことに挑戦することが5期生となる私たちの課題でした。引き継いだ活動は「広報・お茶席」、新しく考えた企画は、「スタンプラリー、休憩スペースの作成、キャンドル展示」です。

「広報」

ポスター・チラシ作成を行いました。ポスターは一から私達がデザインし、人目に付きやすいよう鳥居の前に設置しました。チラシはボランティアサークルのNONTsさんに依頼して京都産業大学近辺の家に200部ほど配布して頂きました。

「お茶席」

今年も表千家の佐々木宗聖先生・この授業のOB・OGに助言・お手伝いいただき、二の鳥居の外の芝生で本格的な茶道（お点前）を行いました。多くの家族連れや外国の方に参加いただきました。

「スタンプラリー」

「賀茂の水まつり」当日は、午前中から「上賀茂手づくり市」というイベントが開催されており、中心となる神事は夕方から行われます。「上賀茂手づくり市」にきたお客さんに上賀茂神社について知ってもらい、継続して、神社に立ち寄ってもらえるようにとこの企画を考えました。

「休憩スペース」

猛暑により人が集まりにくいと言う前年の反省から、当日の暑さ対策として、屋根付きの休憩スペースを設けました。

「キャンドル展示」

写真に映え、かつ水に関連した展示を考え、小川の両サイドにキャンドルを置きました。当日、お客さんがたくさん写真を撮ってくださり、当初の目的を果たすことができました。



チラシ

お茶席



スタンプラリー



休憩スペース

キャンドル展示



活動を振り返って

今回、私たちは大学も学年も違う4人の受講生で始動しました。はじめは皆講義の概要も実際の活動内容も全く分からず、先生に指示を仰ぐばかりでした。今年度からこの講義の担当になった吉野先生も、丁寧に講義の進め方や祭りの概要を説明してくださいました。賀茂別雷神社権禰宜の神山拓也様や前年度まで担当されていた若松先生にも助言していただきながら、少しずつ祭りへの理解を深めていきました。

このように先行き不安なスタートを切った講義でしたが、特に苦勞した点はというと、やはり4人という少ない受講生に対する企画の多さでした。当初は10ほどあった企画の中で、予算や設備の有無などを考慮した実現可能性や関連団体のオファーの関係などで、残念ながら断念したものもありました。しかし受講生だけで存続するのが困難になった企画も、広報等で神山様、お茶席では表千家の佐々木宗聖先生、流しそうめん・おみこしではNONTsさん、その他にも過去の本講義受講生や吉野先生のゼミ生など、多くの方に事前準備や当日の運営など協力していただき、そのほとんどを満足のいく形で実現することができました。

私たちはこの授業を通して多くのことを学びました。賀茂別雷神社の「水まつり」は他のPBL講義と比べても協力団体の数が多かったと思います。それでも成功をおさめられたのは、祭り当日までに皆が様々な場所で多くの方と、時には個人で打ち合わせをし、本番に向けて準備を進めた結果だだと思います。祭り当日はこの講義で「水まつり」に参加できてよかったと皆が思ったことでしょう。しかしながら、多くの方に協力を依頼する以上、予定がかみ合わずうまくいかないこともありました。また、受講生もそれぞれ学校の課題や用事で打ち合わせに参加できないことも、祭り直前で自分たちを苦しめた要因でした。「水まつり」自体はたった一日でも、多くの人を巻き込み長い準備期間を経てようやく完成するものです。そのため綿密な計画を皆が意識して早いうちから全力で取り組まなければいけないことも今回の「水まつり」で実感しました。この経験を学校だけでなく、今後社会に出てからも長い人生の中で生かしていきたいと思いました。

担当教員からのコメント

本年度から、京都世界遺産PBL(上賀茂神社×京都産業大学)を担当しました。まずは、授業運営にあたり、格別の配慮、ご助力を頂戴した賀茂別雷神社(上賀茂神社)様、特にご担当の神山拓也様に心からお礼申し上げます。

数年間継続して、「賀茂の水まつり」の活性化を中心に、「上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する」という課題に取り組んでいます。4月～12月の長丁場でしたが、受講生の皆さんは、5月のインタビュートレーニング、10月のプレゼンテーショントレーニングも含め、かけがえのない体験を得たのではないかと思います。

7月28日「賀茂の水まつり」当日は、天候にも恵まれ、全体として多くの企画が盛り上がり成功しました。書道パフォーマンスを演じた塔南高等学校書道部の清々しさは特に印象的で、「水まつり」に新たな息吹が吹き込まれた気がしました。

「水まつり」の運営には、京都産業大学ボランティアサークルNONTs、お茶席担当の佐々木先生、先輩学生などが献身的に継続して関わっています。受講生の皆さんは、人間関係・信頼関係の重要性を再認識できたのではないかと思います。「学生の視点」から、何ができたのか、できなかったのか、しっかり見直し、今後の成長の糧にして頂ければと希望しています。

活動資料



上賀茂神社に関する学習



上賀茂神社でのミーティング



水まつり宣伝のポスターと看板

水まつり 当日の様子



消防音楽隊



茶道



書道パフォーマンス



絵馬御輿



スタンプラリー